

1996. 11. 25.

日本教育新聞

総合学科、74校に

来年度は29高校で新設

文部省は十八日、来年度に全国で公立二十九高校が総合学科を新設する見通しであることを明らかにした。すでに設置した学校とあわせると七十四校となり、総合学科のある都道府県は四十にのぼる。

公立での新設は二十一道県(うち市立高校一県)の二十七校。このうち既設がゼロだった岐阜県は、先行して「産業社会と人間」を開講していた土岐高校(来

年度)を、土岐紅陵高校に改称予定を含め、一度に県立四校で整備する。

公立での新設は二十一道県(うち市立高校一県)の二十七校。このうち既設がゼロだった岐阜県は、先行して「産業社会と人間」を開講していた土岐高校(来

で、普通科高校でも五校が総合学科に衣替え。専門学科はもとより、普通科も総合学科転換の対象となっていることを印象づけた。

前身が普通科と専門学科の併置校だったのは十四校

九四年度に制度化された総合学科は、初年度に七校(うち国立一校)でスタート。以後、新設校は九五年

これにより、一県に四校整備されるのは愛媛(うち

国立一校)に続いて福島(うち私立一校)、埼玉(うち国立一校)、岐阜、広島、五県。また宮城、新潟、三重、島根の各県が新たに一県三校となり、「通学範囲には必ず用意」(中教審第一次答申)に向けた整備が進みつつある。

九四年度に制度化された総合学科は、初年度に七校(うち国立一校)でスタート。以後、新設校は九五年

これにより、一県に四校整備されるのは愛媛(うち